

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム  
プロジェクト推進型 SBIR フェーズ1 支援  
2024 年度事後評価結果

グラント番号	JPMJST2454
研究開発課題名	多様化(重複障害)する障害児者のデジタルデバイド解消を目的とした支援ツールの社会実装
研究代表者	熊本高等専門学校 企画運営部 教授 清田 公保
研究開発成果の概要	肢体不自由の障害児者によるデジタル端末の利用支援のための KME (KOSEN Multifunctional Endpoint) 多機能スイッチインターフェースを開発し、全国の特別支援学校 17 校において実際に授業での社会実装評価を実施した。その結果、利用者となる特別支援学校教員の初期準備時間の短縮効果と児童生徒への活用事例による有用性を確認した。

#### 総合評価

研究者の地盤でコアなユーザを巻き込み、製品認知・実証活動を進めた。製品の有用性は認められるものの、マーケットが特別支援学校での教育に限られ事業性に懸念があるため、社会実装手法として教育現場にノウハウを提供していくような形を検討する必要があると考える。商品・サービスの位置づけとしては、KME の優位性、有用性に対するユーザ評価を定量的に取得し、費用対効果を明確にすることが必要である。

以上